

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	新政南アルプス 村松三千雄	<p>1. ウィズコロナ・ポストコロナ時代における本市の政策戦略について</p>	<p>世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療現場や経済活動への影響だけでなく、新たな生活様式や価値観の広がり、自然環境に対する意識の高まりなど、多方面に影響し、様々な変化をもたらした。</p> <p>(1) 本市は、小中学校における分散登校や、積極的な3回目のワクチン接種、さらに「南アルプス元気券」の発行など市独自施策を含め、市民の安全・安心を確保するとともに、地域経済を元気づけてきたが、新型コロナウイルスが本市にもたらした「影響と履歴効果」について、どう捉えているか、市の所見は。</p> <p>(2) この感染症に負けることなく、市民の命と健康を守ることを最優先しつつ、経済や社会活動も回復させることが喫緊の課題であると思う。 この転換期を見据え、本市の新しい未来を切り拓くため、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における、まちづくりの方向性とビジョンを市民の皆様を示すことが必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>(3) ウィズコロナ・ポストコロナ時代を前提とした、新しい様式による事業展開の方針は。</p>
		<p>2. 南アルプス産果樹の「ブランド化」を目指した販売戦略について</p>	<p>フルーツ王国山梨として、笛吹市の一宮のモモや甲州市の勝沼のブドウは有名であるが、本市でもサクランボ・スモモ・モモ・ブドウなど多種多様な果物が盛んに生産されており、果物狩りや、ジャムなどの加工品も人気を集めている。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	新政南アルプス 村松三千雄		<p>(1) 第2次南アルプス市総合計画・後期基本計画では、農産物の販路拡大のため、JAなどと連携し、ブランド化やPR活動、新規食材への果樹利用の推進を図っていくとしているが、現状と今後の取り組みは。</p> <p>(2) 「南アルプスブランド」の確立に向け、貴陽やシャインマスカットの市独自のブランド戦略について、市の所見は。</p> <p>(3) 高品質で安全性の高い南アルプス市の農産物を活かして、競争力の強い農業を目指すために、その一つに輸出促進という「攻め」への政策転換を進める中で、本市の輸出戦略の現状と今後の取り組みについて、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	躍進会 野中国幹	1. 移住・定住施策 について	<p>(1) 若者世帯定住支援奨励金事業が、本市単独事業として導入されている。この事業の令和元年度決算では、事業活用された世帯は104世帯であり、決算額は3,280万円、令和2年度決算では事業利用者は119世帯・決算額3,450万円である。令和3年度予算状況は見込件数115件で、予算額3,300万円とされ、令和4年度予算内容は見込件数200件で予算額、5,810万円という予算計上である。この積算は何を根拠として算出したのか。</p> <p>(2) 令和3年に新規事業とされた、結婚新生活支援事業と、令和3年度新規事業として導入した、移住支援金交付事業について、その実績と取組み方針は。</p> <p>(3) 空き家バンク事業として申請するためには、空き家バンク登録物件に該当しなければ、事業の認定が受けられないとの認定基準であるが、この認定の根拠と、この事業の3ヶ年間の年度実績は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	躍進会 野中国幹	2. 美術館運営について	<p>(1) 平成30年度にリニューアルオープンを行い、記念事業として特別展等を実施することにより、過去にない来館者を迎えることが出来た。これも向山館長の卓越した手腕が生かされたものと、敬意を表するところである。そこで、今後更に市内外に向けて魅力ある美術館とするために、どのような運営を行っていくのか。</p> <p>(2) 文化観光の推進に関する法律、いわゆる文化観光振興法が令和2年に施行されたが、美術館や博物館など文化施設と観光を結び付けての取組みが期待される。本市としてはどのような方針を掲げていくのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	公明党 齊藤博明	1. 地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分）の活用について	<p>(1) 雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援など、生活者支援に関する事業実施計画は。</p> <p>(2) 農林水産、運輸・交通、観光、生活衛生等、各事業継続のための産業支援に関する事業実施計画は。</p>
		2. 本市の学校施設における基本方針について	<p>若草小学校改築基本計画において、本市の今後の教育環境づくりのモデルケースとなる学校づくりを目指すとし、具体的には、エコスクール・プラス、及びZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）に即した施設を目標とすることが示された。□脱炭素社会の実施に貢献する、持続可能な教育環境を実現するために、本市は将来に向けたビジョンと具体策をどのように考えているか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	未来創政の会  矢崎俊秀	1. 若草保育所園舎 建築工事の入札 について	<p>(1) 若草保育所園舎建築工事の入札については、予定価格を事前に公表とする事後審査型条件付一般競争入札にある。この事前公表の是非については、昨年12月議会において、予定価格の公表は法令上の規定がないことや、地方の事情に応じて各自治体の判断に委ねられていることから、本市においては、透明性の確保や不正行為防止の観点から事前公表の扱いにあると答弁されている。しかし、令和4年5月21日付け山梨建設新聞に掲載されたこの度の入札不調から考察すると、入札の透明性の確保や経済性のある競争性を図る上で事前公表をしない国の対応と同じ扱いの方が、合理性があると考えるが市の所見は。</p> <p>(2) 昨年の12月議会の当局の答弁では、予定価格の公表のメリットとして入札の不正防止、つまり落札できないことを防ぐことや価格漏えい防止を挙げている。しかし、この理由では法令順守義務が課せられている職員等の資質の補完規定に取れる。また、総務省の通達にある予定価格の事前公表は適正な競争が損なわれるとの指摘を踏まえると、予定価格の事前公表は入札の本来的目的の一つである競争による経済的効果を低下させて、それと引き換えに職員等の資質を補完することになるため、市が示した予定価格の事前公表の理由は、総務省が指摘した弊害の解決にはあたらないと考えるが市の所見は。</p> <p>(3) 事後審査型条件付一般競争入札における入札辞退は、どの様な場合に想定されるのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	未来創政の会  矢崎俊秀		(4) 若草保育所新築整備事業は、予算書では総額775,875,000円である。これは、市のホームページ上公表されていることから誰でも閲覧できる。このことを念頭において、入札の経緯をかいつまんで整理すると、先ず、4月28日付の南アルプス市公告第43号の建築工事費の予定価格は474,710,000円、同様に機械設備工事費は126,190,000円、電気設備工事費は60,070,000円で、その予定価格の合計は660,970,000円である。予算総額775,875,000円から入札公告の予定価格合計に消費税を加えた額727,067,000円を差引くと残額は約50,000,000円である。従って、この経緯を踏まえて私が危惧するのは、総事業費や予定価格が公表されていることから、予算残額の計算は少し知識があれば誰でも計算できる。一般論の想定で考えてみると、予算の範囲での増額を念頭に入札辞退をされては問題である。ちなみに、入札まで持ち込むと、予定価格を超える場合は勿論失格になる。そして次はエントリー出来なくなる。従って入札辞退を選択し予定価格の増額とする。ここに予定価格の事前公表の弊害がある。この様な関係性があることから、私は予定価格の事前公表は避けるべきと考えるが市の所見は。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	未来創政の会  矢崎俊秀		<p>(5) 建築設備工事費抜きの建築主体工事費における予定価格は474,710,000円であることから坪単価に換算すると112万円である。この単価は東京の大手の建築会社に照会したところ決して入札辞退とするレベルの予定価格ではないとの話を伺った。そこで、建築工事の資材の高騰よりも設備工事の資機材の高騰が大きい中で、建築設備関係2件の工事入札は落札にある。このことを踏まえると建築主体工事の予定価格が著しく不相当とは考えられない。そこで、建築工事費を見直しする根拠が不明であるが、市は何を根拠に見直しするのか。</p> <p>(6) 共同企業体とした効果を市はどの様に捉えているのか。</p> <p>(7) 物価変動に伴う工事金額の変更については、本市の契約約款第26条第6項では、予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、請負代金額の変更を請求することができる規定にあるが、この条項では不十分である。本市の物価スライド条項はどの様に定めているのか。</p> <p>(8) この度の入札辞退で、市が受けた損失は制度上の問題から生じているが工事期間の変更を伴うことから既に落札された電気設備工事、機械設備工事は、工事一時中止等の措置を講じても技術者等の拘束があることから、請負工事金額の変更が生じるがどの様に対応するのか。また、単年度予算の扱いをどの様にするのか。</p>



質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	未来創政の会 矢崎俊秀	2. 桃源文化会館の大ホールの特 定天井の改修について	<p>(1) 桃源文化会館は、平成29年から平成30年にかけて大規模改修工事が実施されている。その中で、大ホールの特                      定天井については、耐震改修する必要性があるが改修対象から除外されて未改修のままに放置されて足掛け4年を迎えている。この                      ような中で、年間4万人から5万人が利用する利用度の高い本市の教育文化政策の質の高さを誇る施設である。しかしながら、安全性に関する根幹的な問題を残したままの供用開始では、本市の教育文化政策の推進に支障があると考えますが教育委員会の所見は。</p> <p>(2) 東海沖地震等の切迫性から鑑みて、桃源文化会館の大ホールの特                      定天井の未改修に伴う危険性について、会館利用者にはその情報提供する必要があると考えるが、施設管理者の教育委員会の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	日本共産党 南アルプス市議団  松野昇平	1. 森林の管理について	(1) 南アルプス市は、生物多様性に富んだ豊かな自然環境が守られていることから、ユネスコエコパークに登録されている。市の総面積のうち73%を占める森林について目指す姿をどう描いているのか、市の所見は。
			(2) 森林管理の課題を基本的にどのように捉え、解決していくのか。市の所見は。
			(3) 森林環境譲与税を原資にした事業の成果と今後の展開は。
			(4) 野生動物について生態学的な研究をしていくことは、市の森林管理にとって重要であり、計画に位置付ける必要がある。市の所見は。
			(5) 野生動物が餌や水を探している間に森林から河川に入り込み市街地に出没することが近年社会的な問題となっている。市の対策は。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	<p>2. 子どもたちを交 通事故から守る 取り組みについ て</p>	<p>(1) 横断歩道をはじめとする道路標示が見えにくくなっている箇所が市内に散見される。特に学校の周辺においては、緊急的に改修するなどの安全対策が必要と考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 市内小中学校の通学路については合同点検に基づく安全対策の実施、対策済み箇所の効果検証を行うなど、マネジメントサイクルを循環させることで通学路の安全性の向上に努めている。保育園などの施設についても同様に継続的な安全性向上を目的とした体制づくりが必要と考えるが、市の所見は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	南風 藤田亜由未	1. 本市における教育環境の向上へ向けての取り組みについて	<p>(1) 近年、多様化するいじめ問題が全国的に課題となっている。特に、表に出にくく発見が困難とされるインターネット上のトラブルや、SNSを使った嫌がらせやいじめについて、本市はどのように対応しているか。また、トラブルを未然に防止するための児童生徒からの相談体制の強化や教職員への意識付けの取り組みについて、市の所見は。</p> <p>(2) 学校へ行かない・行けない子どもたちの数は年々増加傾向にある。市内には「あるぷす教室wing」が設置されているが、その利用状況は。 また、「あるぷす教室wing」以外の第3の居場所づくりへの理解と取り組みについての考えは。</p> <p>(3) GIGAスクール構想でのタブレット端末の使用が始まってから1年が経過したが、本市におけるICT教育の進捗状況と、さらなるタブレット端末の有効活用について、市の所見は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	新政南アルプス 保坂 健	1. 安藤家住宅駐車場への進入路整備について	<p>安藤家住宅西側には、旧南湖第1保育所の跡地を活用した駐車場が整備されているが、ここに至るまでの既存進入路は狭く、軽トラ同士のすれ違いも困難な状況である。ましてや、マイクロバス等での、進入は困難な道幅である。</p> <p>バス等での来館者には、滝沢川土手の道路に駐車して、歩いて駐車場を通過してもらい、来館してもらっている現状である。</p> <p>道路に駐車しての乗り・降りは交通事故のリスクが高いものであり、滝沢川土手から駐車場への直接進入路を整備すべきと考えるが、市の所見は。</p>
		2. 中高年の就農支援事業の拡大について	<p>各種就農支援事業のうち、中高年の農業継承者経営安定支援事業は、定年退職した人が、実家の農業を引き継ぐケースへの支援となり、耕作放棄地への減少にもつながると考えるが、その対象者条件が65歳未満であること、認定農業者であることとされている。</p> <p>今後、この事業の利用者を拡大し農業の振興につなげていくことについては、制限は必要無いと考えるが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 子育てにやさしいまちづくりについて	<p>(1) 本議会の市長の所信で、「(仮称)子ども子育て応援宣言」について協議を開始すると述べられている。3月議会において、宣言取り組みへの考えを質問し、今年度の宣言を答弁いただいたが、この時期に取り組むこととした市の考えは。また、応援宣言をすることにより、どのような効果を期待しているか。</p> <p>(2) 現状において、多岐にわたり子育て支援はあるが、さらに新たな施策を考えているものがあるか。</p> <p>(3) 4月から新たに「こども家庭相談課」が設置され、「相談支援担当」と「途切れない支援担当」の2担当でスタートした。このことは、3月議会において河野議員が質問したところであるが、2カ月が経過し、総合的な相談窓口である「福祉総合相談課」や「子育て支援課」、「障がい福祉課」、「健康増進課」、「教育委員会」等の連携は効果的に機能しているのか。</p> <p>(4) 国は来年(2023年)4月に子ども政策の司令塔となる「こども家庭庁」を創設し、少子化、児童虐待、子どもの貧困、ひとり親支援、障がい児支援など、子どもや子育てにかかわる政策を一元的に担っていくこととしている。国より一足早い体制でスタートした本市の子育て支援体制はどうしていくのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス 三木 充	1. 市営住宅について	<p>(1) 近年、市営住宅の入居者が退去すると、住宅を解体し市営住宅の戸数も激減している。そのすべてが合併以前の建築で経過年数とか耐震性の問題ではあるが、当時としてそれなりの必要性和理念のもと、事業として取り入れたはず。その必要性や理念をどう捉えているのか。</p>
			<p>(2) 比較的低价賃であるこの事業を必要としている市民は少なからずいる。現在は民間のアパートや住宅入居に対して、半額の補助制度がある。これは民間への圧迫を回避できる事業であるが、どのように継続・展開していくのか。</p>
		2. 地域再生をめざして	<p>(1) 地区役員・各種団体の役員のなり手不足は深刻である。これを、どのように捉えているのか。</p>
			<p>(2) 地域の団結力の強化には、地域イベントや行事の復活が有意義だと思うが、財政状況が良い現在、財政の面で地域を応援する考えは。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	新政南アルプス 有野一成	1. 高齢者福祉の充 実について	(1) 第2次南アルプス市総合計画の後期基本計画では、介護予防事業に重点を置き、地域のサロン活動や地域支えあい協議体などの活動を推進し、高齢者が安心して暮らしていく仕組みである地域包括ケアシステムの構築を進めていく必要があると述べている。地域支えあい協議体活動及び、市の支援の現状と課題、又、地域包括支援センター及び、その機能強化の現状と課題について、市の所見は。
			(2) 在宅医療と介護の連携推進の現状、又、移動支援、買い物支援などの生活支援体制の整備の状況等は。
			(3) 高齢者の社会参加の推進においては、市民主体の居場所づくりを支援し、介護予防や生きがいにつなげていくと述べているが、具体的に取り組んでいる状況等は。
		2. 観光振興につい て	(1) 観光振興の基本事業として観光情報の発信がうたわれているが、具体的にどのような発信しているのか、又、発信していくのか。
			(2) 観光客のニーズに合った内容の充実のために、年間を通じて観光を楽しむプログラムの創設や、観光事業者への必要な支援を検討する等と記載されているが、その取り組み等について、市の所見は。
			(3) 観光施設を最大限に活用して誘客を促進していくと述べているが、エコパ伊奈ヶ湖や広河原山荘を含めた芦安地域の施設をどのように活用していくのか。又、以前質問した夜叉神峠に軌道系乗り物を整備する等の新たな観光施設整備の可能性について、市の所見は。



質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	躍進会 北村千代子	1. 公園の施設整備 について	<p>(1) 自然豊かできれいな都市公園は、県内外からの利用者も多い。トイレを含め公園の環境整備は移住定住の推進につながると考えられる。そのためにも公園の施設整備に細やかな配慮が必要と考えるが市の考えは。</p> <p>(2) 公園には公園法により都市公園、農村公園、その他公園と3分類に分かれている。その管理については直営管理、また指定管理委託や各自治会等と協定を結んでいる。公園の設備の設置についてはどのように検討され、設置されているのか、また故障中の遊具等については、これらの修理、点検、改善等はどのような方法で行っているのか。</p> <p>(3) 楡形総合公園西側公園の利用者からは、日陰が少ないので暑い夏は利用できない。また東屋が少ないので、大勢で一緒に利用することができない等の状況であるとの要望があるが、市の見解は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	躍進会 北村千代子	2. 公園のトイレについて	<p>(1) 今年度、都市公園再整備事業が計画されているが、この事業の中に公園のトイレの整備は含まれていない。公園を利用する者にとって一番気になることはトイレがきれいで、安全・安心して利用できることである。トイレの整備について市の計画はあるのか。</p> <p>(2) 公園のトイレの設置場所は建物内と屋外に分けられ、屋外のトイレの多くは公園の奥や隅などに設置されている。トイレは不特定多数の方が自由に使用でき、便利であるが、トイレの防犯上の危険防止や体調不良時の対処について、市ではどのような対応を考えているのか。</p> <p>(3) 市民から「公園のトイレが汚い、もっと気持ちよく使いたい」との苦情を受け、実情を把握するため市内の都市公園と農村公園35か所を歩き、屋外のトイレの状況を調査した。その結果、日常の掃除は行われていたが、古いトイレ設備は特に経年劣化が進み、床、手洗い、便座等が黄ばみ、くすみ、水垢で汚れていた。気持ちよく利用するためにもまた衛生面からもトイレの清潔感が必要と考えるが、市の見解は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	公明党 河野木綿子	1. 子どもを失った 家族へのケア支 援について	<p>(1) 流産や死産、人口中絶など、病気や事故で子どもを亡くした家族らへの行政の対応は、悲しみ（グリーフ）を癒やす「グリーフケア」の視点が重要である。厚生労働省は、グリーフケアに関する手引きを作成し活用を促す通知を都道府県に出しているが、本市の対応は。</p>
			<p>(2) 会派公明党では、不育症について質問をしてきた。その後、不育症についての説明やQ&amp;A、相談窓口の案内などをホームページで示すなど取り組んでいるが、更なる支援拡充への考えは。</p>
		2. 加齢性難聴への 支援について	<p>年齢と共に聴力が衰える「加齢性難聴」に悩む高齢者の社会参加を応援するため、補聴器の購入助成と難聴の早期発見や補聴器購入前の相談やアフターケアまでの切れ目のない支援が必要と考える。本市の所見は。</p>
		3. ブロック塀等撤 去改修補助事 業、木造住宅耐 震改修等の受領 委任払いの適用 拡大について	<p>(1) 震災時におけるブロック塀等の倒壊又は転倒による被害を防止するため、ブロック塀等の撤去や改修工事に対し補助金を交付する事業を実施している。市民から、通学路のブロック塀を撤去したくても資金の調達が難しく悩んでいるとの声を頂いた。担当課に対し、支払いについて今までの償還払いから受領委任払いへ変更対応できないか相談したところ、対応可能との回答だった。いつ頃から適用され、市民に周知されるのか。</p>
	<p>(2) 市民への利便性を考慮し、今後は木造住宅耐震改修や木造住宅シェルター設置事業、木造住宅耐震改修設計事業についても受領委任払いを適用することで市民サービス向上につながると思うが、本市の考えは。</p>		

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	公明党 河野木綿子	4. 高齢者の安心・安全な自動車運転のあり方と運転免許証返納者への支援について	<p>(1) 令和元年9月議会で質問したが、高齢者ドライバーによる自動車事故を減らすための安全運転講習や技術講習などの取り組みの進展は。</p> <p>(2) 運転免許証を返納したドライバーに特典をつける支援を提案したが、その後の検討は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	1. 学校給食について	<p>(1) コロナ禍に加え、物価高騰が深刻となっている。子育て世帯も大きく影響を受けているだけに、今こそ、給食費を無償にすべきと考えるが、市の考えは。</p> <p>(2) 学校給食において、地産地消の推進などの地域循環型の取り組みを推進することは、パンデミックや物価高騰に対しても“つよい”地域をつくることにつながると考えるが、市の所見は。</p>
		2. 奨学金事業について	本市には奨学金制度があるが、コロナ禍や物価高騰の中で奨学金の返済が困難になる場合が懸念されることから、給付型の奨学金を拡充すべきと考えるが、市の考えは。
		3. リニア中央新幹線工事に伴う甲西市民グラウンド機能回復事業について	市はリニア中央新幹線予定ルートフード未設置予定区間で、甲西市民グラウンドの移転事業を進める計画だが、微気圧波の影響は考慮していないとのことである。この計画で本当に、市民が快適にスポーツをできる環境を維持できるのか、市の考えは。
		4. 米軍機の低空飛行や空中給油訓練への対応について	本市上空で米軍機による低空飛行や空中給油訓練が行なわれている実態がある。市民の安全を守るために、市としても実態を調査し、関係機関に中止を求めべきと考えるが、市の所見は。

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	南風 櫻田 力	1. 南アルプスIC 周辺整備事業に ついて	<p>(1) 南アルプスIC周辺の開発可能性を探る方法としてSWOT分析を用いた理由は何か。</p> <p>(2) SWOT分析の前提条件は整理され、庁内検討会、市民ワークショップ等の検討メンバーに周知した上で分析が行われたか。</p> <p>(3) 5月16日の議員説明会資料に示されている「プロジェクトの必要性」と「プロジェクトの理念」（持続性のある3つの豊かさを叶えるまち）は、分析により得られた土地利用の方向性を示したものと捉えてよいか。</p> <p>(4) 対象エリアについての企業意識調査結果によれば、この地域に魅力を感じている企業は約3割であり、その理由の多くは「市の方針・計画が定まっていない段階では検討に至らない」とのことである。市の方針を打ち出すことが急務であるが、この計画を今後どのように進めていくのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	小林敏徳	1. 新産業整備拠点 について	1月21日の議員説明会や3月の「市長説明要旨」の中でも「3月下旬に事業候補者の決定を行い、5月に事業者の決定をする」と公言していたが、当初の予定より遅れているのはなぜか。
		2. 住民訴訟について	市民から、広河原山荘新築工事の実設計について「損害賠償命令請求住民訴訟事件」で訴えられているが、裁判の経過について報告すべきではないか。